



1. 5月16日(木)から1泊2日で宿泊体験学習を実施しました。

5月16日(木)から1泊2日で1年生の宿泊体験学習を実施しました。宿泊体験学習の目的は、「1泊2日の集団生活で生徒一人一人が班・学級・学年でのつながりを深め、その地域の文化や自然を、体験を通して学ぶ」です。出発式では突然の大雨が降り、琵琶湖近くの昼食時には台風並みの突風が吹くなど、ハプニングがありました。子どもたちは動じることなく柔軟に対応し、琵琶湖博物館の見学やウォークラリーを楽しんでいる様子が見られました。そして、夜のキャンプファイヤーでは、係の子どもたちが中心になって考えたゲームやスタンプで盛り上がりました。

2日目の「ひこねスカイアドベンチャー」では、地上8メートルで18のミッションにチャレンジするハイエレメント(アスレチック)があり、子どもたちが互いに声を掛け合いクリアしていく姿が印象的で、ゴールした子どもたちの表情には達成感が満ち溢れていました。さらに、ローエレメント(チームビルディング)では、工夫されたゲームをすることによって、子どもたちが新しい友達を作るきっかけになったり、普段話しているグループ以外の友達と話す機会になりました。これらの取組によって、学級・学年のつながりがより深まったと感じました。

2. 5月29日(水)から2泊3日で修学旅行を実施しました。

5月29日(水)から2泊3日で修学旅行を実施しました。出発日前日の大雨の影響により、当初計画していたラフティング体験が中止になり、急遽ナガシマスパーランドでの活動に変更になりました。ラフティング体験が叶わなかったことはとても残念ですが、子どもたちは、ナガシマスパーランドでの活動を十分楽しんでくれたようでした。前日の夕方まで現地との交渉をしていただいた関係の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回の修学旅行の目的として、「体験学習を通じて自然について学び、知識・理解を深める。信州の自然や文化に直接触れ、自分たちが住んでいる地域との違いを理解する。」などがあります。それらの目的の達成を図ることはもちろんですが、子どもたちには、修学旅行が日常生活から離れて、子どもたちが各々の家庭を振り返り、毎日の学習活動を支援してくれている家族等へ思いを馳せる機会となればと思っています。修学旅行が実施できたことに感謝し、修学旅行で得た経験を今後の学校生活に生かして欲しいと願っています。

3. 6月6日(木)体育祭を実施します。

体育祭や部活動の試合のように勝敗が決まる行事などの時に、「勝者と敗者の違い」を思い出します。勝ち負けだけにこだわらず、お互いの頑張りを称え合うことが大切です！「歴代の偉大な50人の選手」に選ばれ、2002年に殿堂入りしたアメリカの元バスケットボール選手(1959年8月14日生)アーヴィン・ジョンソン(通称:マジック・ジョンソン)による名言の一部を紹介します。

勝者は、間違ったときには「私が間違っていた」と言う。敗者は、「私のせいではない」と言う。

勝者は、勝因は「運が良かった」と言う。敗者は、敗因を「運が悪かった」と言う。

勝者は、問題を真っ直ぐ通り抜ける。敗者は、問題の周りをグルグル回る。

勝者は、「自分はまだまだです」と言う。敗者は、自分より劣るものを見下す。